

議会報告と意見交換会

赤平市議会では、議会活動を地域に出向き直接報告し、市民の皆さんと意見交換を行う「議会報告と意見交換会」を下記の日程で開催いたします。多くの皆さんのご参加を心よりお待ちしています。

日 程	時 間	会 場
11月20日（月）	18:00～	豊里ふるさと会館
	17:00～	ほろおか交流センター
11月21日（火）	18:00～	文京生活館
	18:30～	旧平岸小学校
11月22日（水）	18:00～	泉町会館
11月24日（金）	16:00～	福栄地区集会所
	18:00～	東公民館
11月27日（月）	14:00～	ふれあいホール
	17:00～	住吉獅子会館



中空知ふるさと市町村圏議員交流会赤平で開催(7/10)



道央支部議員研修会三笠市で開催(8/25)三笠高校視察



手話で(ふるさと)を熱唱(8/27)

か
わ
ら
版
N
O
44



第3回定例会

9月11日～25日まで

平成28年度各会計の決算認定、ガイダンス施設の補正、工事契約の変更による契約の締結など24件、意見書案4件を原案どおり可決・認定し、平成28年度決算に基づく赤平市健全化判断比率、資金不足比率等の報告6件を報告済とし、閉会しました。また、13日・14日の2日間にわたり7名の議員が一般質問を行いました。

28年度決算・条例・補正予算を可決

については、予定価格2000万円以上と条例で規定されており、議会の議決を要しないと認識している。

【質問】最も重要な庁議にも諮らず、譲渡後に発生する費用負担を敢えて伏せ、市議会には正式提案せず取得契約を結んだということは、市民の目から見ても不自然な経緯である。庁議や議会に諮れない特別な理由があつたのではないか。

【答弁】貧困の連鎖について学校教育の充実について

【質問】学力向上の妨げになる貧困の連鎖について

【質問】特別な理由はない。総合戦略の中でも市民に諮つており、概要版も全戸配布で周知させており、一定の理解は得ていると考える。

民主クラブ



向井義擴

ち切ることは、保護者に対する生活支援が最も急務。保護者の負担軽減のため子育て支援事業としている諸々の支援策とともに、社会福祉課、介護健康推進課とも連携し総指導主事の配置も必要であると認識し総合教育会議において検討していく。

【質問】豊里と赤平について街区表示と住居表示に

【質問】豊里と赤平になつており、同じような面積で茂尻地区は12の街区に分けられた表示になつてゐる。わかりやすくなつてゐる。さのためには通称で使われてゐる街区表示を行うべきではないか。

【質問】字名地番改正等によりわかりづらい地区名の解消を図ってきたところであるが、住友地区や赤間地

区は、今後の推移を見守るとして範囲に含めなかつたものであり、その後も実施にあたつては、大変大きな財政負担が伴うことから慎重な検討とや戸籍等の公簿類の書き替えなど作業が膨大であることから慎重な検討が必要であると判断をしてきたところである。

【質問】公共施設に分煙室を設置することを提案したいと思う。例えば、みらいや総合体育館では入り口に灰皿を置いて出入りする喫煙をしない人、子供など受動喫煙対策として、分煙のためのプレハブなどで簡易の施設を作るべきではないかと思うがいかがか。

【答弁】本市の禁煙・分煙対策としては、庁舎は建物内禁煙を検討している。社会教育施設については防火管理上から玄関口近くに灰皿を設置するが、今後、少しでも周辺の方が煙を吸うことを見防止できるよう検討していく。

【質問】お互いに交流を図り、更なる特産品のPR、販売につながる連携について、振興局や自治体、団体等の情報も集めながら検討していく。

【質問】芸術のつながりと地域連携のあり方について

【質問】当市は流政之彫刻公園があり、近隣美唄市の安田侃彫刻公園等、道内の彫刻がある地域と

いは、ピアパーティなどの飲食会場として利用されていることもあります。赤平でも開催され重に検討していきたい。

夢現会



植村真美

連携した事業構築の可能 性や空知管内では炭鉱アートプロジェクトが展開され、赤平でも開催される連携も強めた事業を考 えていかがか。

【答弁】コレクション力やスタンプラー等も提案いただいたので、関係者、関係地域との情報や要望等も収集し、交流人口の拡大につながる地域連携について勉強していく。

【質問】歴史のつながりと特産品販売のあり方として、来年、北海道が150年を迎えるので、炭鉱港（空知・小樽・室蘭）や炭鉱の歴史がある九州や福島等とも連携した特産品販売の企画等、販路拡大を考えていかがか。

【答弁】お互いに交流をしてはいかがか。

【質問】複数の疾患を抱える高齢者が多い当市にとっては、新たな診療科の特徴をとらえた新たな診療科目の設置の検討をしてはいかがか。

【質問】全国的にも先行き不透明な状態。これからはそれぞれの医療機関が独自に医師を確保する時代ではなく、基幹病院に医師を集め、近隣の病院に医師を派遣してもらうのが現実的と考えている。

子どもの心身を守る体制について

【質問】子どもの相談窓口の充実や当市独自の対応の強化をしてはいかが
か。

【答弁】学校にポスター等の周知をしてきたが、さらに強化していきたい。また、チエツクリストを掲載した保護者向けのチラシ配布を検討中である。

新政クラブ



御家瀬 遵

赤平市の人団減少対策について

【質問】日常生活を送るうえで必要な商業、飲食、医療、教育、公共交通機関は、一定の人口規模によつて成立ち、人口減少に伴い縮小撤退することにより、雇用機会や生活の利便性を奪い、更なる人口減少を招く結果になつてゐる。人口減少と高齢化の進行によつて、今後税収が減少する一方、社会保障費の急増が見込ま

① 市内に希望する住宅がないため、遠距離通勤をする。打開のためにどのような努力を払っているか伺う。

【答弁】公営住宅法による収入制限を緩和した住宅を用意し、民間賃貸住宅建設に対する助成事業を進めている。

② 民間賃貸住宅供給について伺う。

れ、上下水道等、公共施設の老朽化への対応も必要となり、今まで受けられた行政サービスが、廢止又は有料化される時代が来る。これらの悪循環にくさびを打ち込む施策の展開は、過疎地域に共通する喫緊の課題である。併せて地域活性化を標榜していく中、実効性に乏しい事業には歳出の抑制に努め、将来の財政危機に備えることが急務である。この度は、定住化を促進するキーポイントである住宅政策が、十分機能しているかに照準を絞つて質問する。

【答弁】平成26年度本町
1棟8戸、27年度本町1
棟6戸、28年度錦町1棟

夢現会



竹村恵一

若者流出対策について
【質問】児童福祉施設整備計画について、子育て環境、教育環境の充実が若者流出の歯止めと考えている。計画策定の時期や内容について伺う。

〔答弁〕この計画は保育所、幼稚園、子育て支援センター、児童センター、

③ 住宅地区改良法による
住環境の整備と柔軟な運用
管理により新生工業都市
市再生を期して、住宅特
区指定申請の検討につい
て伺う。

【答弁】民間賃貸住宅建
設、市営住宅の利用状況
も見ながら必要性も含め
検討していく。

10戸、大町1棟8戸、29年度西文京町1棟4戸を建設、他に建設用地として1か所譲渡し、市内2力所3宅地を基準価格の1割で購入できる民間賃貸住宅土地購入助成事業を行つてゐる。

【答弁】 策定は今年度中を目指している。

【質問】認定こども園への移行までの間の保育所運営や保育士確保をどう考えるか。

なる諸問題を解決するため、確保は急務と考える
年度当初の正職員採用、
年度途中での正職員募集
今年8月からの臨時保育士の待遇改善を行つてき
たが、新たに来年度も正職員の募集をかける。
新規学卒者以外の潜在保育士へのPRと応募条件
の年齢要件の緩和も検討していく。

炭鉱遺産に対する考え方の透明性について

かりとした計画の基、予算を立て、段階的な整備を進め、市民の方々へ理解していただきべきと考えるが、市の考え方を伺う。

【答弁】炭鉱遺産活用施策は親松元市長、高尾前市長の時代から各種市民会議で協議され、市総合計画、スクラムプランの施策と位置付けられ、総合戦略会議で策定した炭鉱遺産公園整備を含む全施策を説明し、チラシを市内全世帯へ配布し、住民懇談会、基本構想案の市民説明会などで説明してきた経過もあるが、今後も新たな取り組みにはより一層市民周知を徹底するよう努力していく。市の歴史を後世へ継承することは重要である。多くの方に学び、見学いまだく機会を設けていく。

決算委員会各会派の市長総括

民主クラブ 若山 武信

【質疑】企業への振興育成の促進は各事業の拡大や雇用の安定を図り、人口減少対策につながる。結果、当市の税収入は安定し、その効果は商店街振興にも連動する。10月に「空知産炭地域総合発展機構」が解散予定であり、当市独自の「基金」を積み立て、産業振興・発展に役立てるべきではないか。

【答弁】現在、企業振興促進事業として「赤平市企業振興促進条例」が制定されているが、産炭地基金がなくなることを見越し、平成24年に条例を見直して企業振興に努めている。平成29年6月に「地域未来投資促進法」が公布され、国からの各種支援措置が受けられることから赤平市としても基本計画の策定に着手したいと思っている。

新政クラブ 御家瀬 遼

【質疑】主要政策である雇用確保と地域産業振興について、予算計上時に執行への強い決意表明があったにも関わらず、不用額が散見される。予算計上時に予測できなかった、執行を妨げる何があったのか、どのような善後策を講じたのか伺う。

【答弁】結果として施策の周知徹底を欠いていた。今後必要に応じて複数課による対応を図り、万全を期していきたい。

【質疑】市立病院の外来患者数が昨年比で減少し、将来入院患者数減、経営悪化への連動を危惧するが、見解を伺う。

【答弁】28年度から眼科診療日数減、本年4月から皮膚科が休診している。今後は札幌医大、砂川市立病院からの診療応援に期待している。

夢現会 植村 真美

【質疑】赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略がスタートし、地域資源活用のビジョンを問う総括とし、自主財源増加の評価分析について伺う。平成28年度の決算歳入で自主財源の増加がある。ふるさと納税の増額が特徴的なものだが、この勢いを止めることなく、さらに継続させるため、この度のふるさと納税が増額となった原因をどのように捉えているのか。その評価分析をし、影響力があった取り組みや継続、強化をしていく施策を導いていくことが必要だと思うが。

【答弁】市内事業者のご協力もあり、返礼品のバリエーションを増やしてもらった。また、首都圏近郊にPRやイベントを積極的に行なったことが数字に結びついたと感じている。これからも自主財源の獲得のため積極的にふるさと納税に係る事業を推進して参りたい。

公明党 五十嵐美知

【質疑】赤平市の財政4指標全てが健全段階を維持し続けており、これまで職員の早期退職による人件費抑制など努力の成果であると思う。限られた職員数であるからこそ、何に重点を置いて職員配置をすべきなのか、非常に大事と思うが考えを伺う。

【答弁】平成19年度以降、財政健全化計画を基に職員の退職等による組織の見直しを行なった結果、人件費等の削減など経常経費に大きな効果が現れたものと思う。

今後は総合戦略や総合計画の重点施策である事業が円滑に進めて行けるよう各課の課題や現状を聞き取りしながら、職員の個々の能力、知識や経験など活かせるよう限りある職員数であるが、適正な職員の配置に向け対応していく。

日本共産党 木村 恵

【質疑】市長交際費の中で8月25日防衛講演会懇親会というものがあるが、この日は赤平市内で大規模な断水が起きていた。市内各所で復旧していた時期ではなかったか。

【答弁】確かに出席していたが断水の報告を受け、すぐに戻って陣頭指揮をしていた。決して懇親会にずっといたというわけではない。

【質疑】文京・若葉それぞれの保育所長から現場の苦しい状況を聞いた。認定こども園ができるまでは保育士確保しながら子育て支援をしていくと思うが、小学校と認定こども園の複合施設という選択肢も検討してはどうか。

【答弁】現在、開設時期や財源を協議している。その提案も参考にしながら検討していく。

議会の動き

- | | | |
|--|--|---|
| 7/ 3 行政常任委員会 | ・学生地域定着推進自治体連携事業の財源
・保育士の確保対策
・ガイダンス施設の概要 | ・炭鉱遺産公園ガイダンス施設建設工事 |
| 7/ 3 議会改革検討協議会 | | 9/15 決算審査特別委員会（～21日）
・平成28年度赤平市一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、土地造成事業、下水道事業、霊園、用地取得、介護サービス事業、介護保険、水道事業、病院事業会計決算認定 |
| 7/10 中空知ふるさと市町村圏議員交流会（赤平市） | | 9/22 議会運営委員会 |
| 8/23 行政常任委員会 | ・あかびら市立病院の経営状況(4・5・6・7月分)
・平岸地域複合施設(平岸コミュニティセンター)
・保育所保育料及び幼稚園保育料
・学校給食における異物混入
・炭鉱遺産文化財化検討委員会 | 9/22 行政常任委員会
・平成29年度赤平市一般会計補正予算
10/2 燕市議会議員(8名)行政視察 『財政再建について』 |
| 8/23 議会改革検討協議会 | | |
| 8/25 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会（三笠市） | | |
| 9/ 6 議会運営委員会 | | |
| 9/11 第3回定期会（～25日） | | |
| 9/11 決算審査特別委員会
（委員長 竹村恵一 副委員長 伊藤新一） | | |
| 9/11 議会運営委員会 | | |
| 9/12 行政常任委員会 | ・赤平市コミュニティセンター条例の一部改正
・赤平市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 |  <p>燕市議会議員(8名)が行政視察で訪問</p> |
| | | <p>市政功労表彰 西出 勝利 氏
教 育 委 員 坪谷 嗣香 氏 (再任)
固定資産評価審査委員 六田 孝男 氏 (再任)</p> |



燕市議会議員(8名)が行政視察で訪問

市政功労表彰 西出 勝利 氏
教育委員 坪谷 翠香 氏 (再任)
固定資産評価審査委員 六田 孝男 氏 (再任)
同意しました。

◎ 意見書 4件 可決

- ・受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書
 - ・核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に努力するよう求める意見書
 - ・オスプレイ飛行訓練の停止と事故原因を早期に究明することを求める意見書
 - ・適正な地方財政計画の策定を求める意見書

獅畠輝明議員が9月25日ご逝去されました。
平成21年3月から25年3月まで議長を歴任され、市の発展のために尽くされたご功績に感謝しつつ謹んでご冥福をお祈りいたします。

紅葉がきれいだと見とれる間に冬支度が始まると、北海道の季節の移り変わりは早いものですね。

9月の定例会も終え、市議会では、「議会報告と意見交換会」の準備を進めていますので、多くの市民の皆さんに参加されるようお願いいたします。

体調を崩されていた獅畠議員がお亡くなりになりました。議員としてばかりでなく多方面で活躍させていたのに残念でなりません。これから冬に向かいます。皆さんも健康に注意してください。

12月の定例会には、一人でも多くの市民が傍聴に来てくれるようになりたいながら、かわら版を作っています。(向井)

かわら版編集委員会 委員長 向井 義擴 木村 恵一 御家瀬 遵 竹村 恵一 五十嵐 美知

編集後記

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。